

2. 事業の必要性等〔事業の投資効果〕 令和3年11月19日時点

◆費用対効果分析

修正箇所 資料2 P9

項目		前回評価 (平成28年度)	今回評価 (令和3年度)
目標流量		6,500m ³ /s	6,500m ³ /s
事業費		約295億円	約378億円
整備期間		平成20年から 概ね30年間	平成20年から 概ね30年間
整備内容		<ul style="list-style-type: none"> ・築堤 ・河口処理対策 ・分派施設設置 ・堤防強化対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削 ・隔流堤設置 ・橋梁架替 ・内水対策 ・防災関連施設
全事業	便益:B(億円)	2169.3 <ul style="list-style-type: none"> 一般資産被害額 : 769.6 農作物被害額 : 6.1 公共土木施設等被害額 : 1,303.2 営業停止損失 : 39.5 応急対策費用 : 38.7 残存価値 : 12.2 	2552.6 <ul style="list-style-type: none"> 一般資産被害額 : 1,337.2 農作物被害額 : 6.4 公共土木施設等被害額 : 992.1 営業停止損失 : 95.7 応急対策費用 : 108.7 残存価値 : 12.5
	費用:C(億円)	355.5	520.8
	B/C	6.1	4.9
残事業	便益:B(億円)	234.6 <ul style="list-style-type: none"> 一般資産被害額 : 80.9 農作物被害額 : 0.3 公共土木施設等被害額 : 137.0 営業停止損失 : 4.4 応急対策費用 : 4.8 残存価値 : 7.2 	287.1 <ul style="list-style-type: none"> 一般資産被害額 : 145.9 農作物被害額 : 0.4 公共土木施設等被害額 : 108.3 営業停止損失 : 10.9 応急対策費用 : 13.2 残存価値 : 8.4
	費用:C(億円)	53.4	84.8
	B/C	4.4	3.4

2. 事業の必要性等〔事業の投資効果〕 令和4年3月8日

◆費用対効果分析

※修正箇所を朱書きにて表示

項目		前回評価 (平成28年度)	今回評価 (令和3年度)
目標流量		6,500m ³ /s	6,500m ³ /s
事業費		約295億円	約378億円
整備期間		平成20年から 概ね30年間	平成20年から 概ね30年間
整備内容		<ul style="list-style-type: none"> ・築堤 ・河口処理対策 ・分派施設設置 ・堤防強化対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削 ・隔流堤設置 ・橋梁架替 ・内水対策 ・防災関連施設
全事業	便益:B(億円)	2169.3 <ul style="list-style-type: none"> 一般資産被害額 : 769.6 農作物被害額 : 6.1 公共土木施設等被害額 : 1,303.2 営業停止損失 : 39.5 応急対策費用 : 38.7 残存価値 : 12.2 	2551.5 <ul style="list-style-type: none"> 一般資産被害額 : 1,336.4 農作物被害額 : 6.6 公共土木施設等被害額 : 991.6 営業停止損失 : 95.7 応急対策費用 : 108.7 残存価値 : 12.5
	費用:C(億円)	355.5	520.8
	B/C	6.1	4.9
残事業	便益:B(億円)	234.6 <ul style="list-style-type: none"> 一般資産被害額 : 80.9 農作物被害額 : 0.3 公共土木施設等被害額 : 137.0 営業停止損失 : 4.4 応急対策費用 : 4.8 残存価値 : 7.2 	287.0 <ul style="list-style-type: none"> 一般資産被害額 : 145.8 農作物被害額 : 0.4 公共土木施設等被害額 : 108.3 営業停止損失 : 10.9 応急対策費用 : 13.2 残存価値 : 8.4
	費用:C(億円)	53.4	84.8
	B/C	4.4	3.4

2. 事業の必要性等〔事業の投資効果〕 令和3年11月19日時点

修正箇所 資料2 P13

◆当面整備における費用対効果の結果

(単位:億円)

項目	当面実施する整備
便益(B1)	150.8億円
残存価値(B2)	5.2億円
総便益(B=B1+B2)	156.0億円
建設費(C1)	47.5億円
維持管理費(C2)	0.5億円
総事業費(C=C1+C2)	48.0億円
費用便益比	3.3

2. 事業の必要性等〔事業の投資効果〕 令和4年3月8日時点

◆当面整備における費用対効果の結果

(単位:億円)

項目	当面実施する整備
便益(B1)	150.7億円
残存価値(B2)	5.2億円
総便益(B=B1+B2)	155.9億円
建設費(C1)	47.5億円
維持管理費(C2)	0.5億円
総事業費(C=C1+C2)	48.0億円
費用便益比	3.3

※修正箇所を朱書きにて表示